

# 第3章 市民に親しまれる 森を目指して



## 帯広の森・はぐく一むの整備と供用

昭和50年の造成開始から30年が経過し、本格的に「育て利活用する」段階を迎えた帯広の森において、森の利活用と育成管理を図っていくための拠点施設の整備が求められていた。

平成12年からの「第五期帯広市総合計画」において、帯広の森の利活用や育成管理を推進する拠点施設の整備を施策として位置づけ、推進計画期間中（平成16年度～21年度）の整備を想定し、整備が進められた。

### 施設整備の背景

昭和50年から平成16年まで計30回開催された市民植樹祭、平成3年から平成17年まで計15回開催された市民育樹祭では、市民の積極的な参加による森づくりが実践されてきた。

しかし、会場や作業の安全確保など物理的課題があり、大規模イベントの継続が困難となる等の理由により、いずれも終了した。

市民植樹祭と市民育樹祭が終了した後、帯広の森利活用計画でも位置付けている「植える段階」から「育て利活用する段階」へ移行するにあたり、大規模イベントに依存しない森づくりや、体験型行事やボランティアによる自主的活動などにより、日常的・継続的な市民と森との関わりを促し、森の利活用や育成管理を図っていく必要があった。

拠点施設の整備にあたっては、市内部で「(仮)青少年総合センター」との合築論議があったが、教育委員会との協議の結果、規模・機能が異なるのでそれぞれ単館整備することとした。

### 施設の目的

はぐく一むは、帯広市のまちづくり及び市民協働の象徴である都市公園「帯広の森」の育成管理及び利活用の拠点施設として設置する。

#### ①育成管理の拠点

森を育成する取組の計画と運用を進め、公園施設を適切に維持し、市民参画・協働による森の育成を図る。

#### ②利活用の拠点

市民が体験学習や自主的活動に取り組む場や機会をつくとともに、森に関わるさまざまな情報を提供する。

### 事業の基本的内容

#### ①施設の維持管理

はぐく一むを適切に維持管理するとともに、施

設本体の暖房設備の燃料となる薪及びペレットを製造すること。

#### ②施設周辺区域の維持管理

はぐく一む周辺区域について、指定する箇所の草刈を実施するほか、市民が安全かつ快適に公園を利用できるように必要な措置を行うこと。

#### ③帯広の森及びはぐく一むの市民利用・活用の促進

帯広の森や施設の「素材」を活かし、自然体験や環境学習など市民利用の促進を図る事業を実施するほか、帯広の森の自然、歴史、市民活動などの情報の収集及び発信を行うこと。

#### ④市民協働による森づくりの推進

市民協働による「森づくり」を推進するために、ボランティア団体など森に関わる市民と協力関係を構築するとともに、必要な助言や技術支援などを実施すること。

### 整備にかかる経過

<b>平成13年度</b>
・帯広の森づくりに関わる市民によりワークショップ開催 拠点施設を核とした今後の森の利活用の方策など意見集約
<b>平成14年度</b>
・帯広の森づくりの利用団体、教育関係者、有識者などにより「帯広の森利活用センター構想検討会議」を組織 森づくりの意義や今後の方向性、拠点施設のあり方など検討
<b>平成15年度</b>
・「構想検討会議」での検討結果のとりまとめ ・基本構想の検討（拠点施設の具体的な役割や機能）
<b>平成16年度</b>
・基本構想の検討（拠点施設の位置や規模）
<b>平成17年度</b>
・基本構想の検討（拠点施設での管理運営形態や事業運営） ・これまでの検討結果を総合し基本構想を策定（H18.5月成案）
<b>平成18年度</b>
・基本計画を策定（H19.2月成案）
<b>平成19年度</b>
・基本設計を策定
<b>平成20年度</b>
・実施設計を策定（施設本体）
<b>平成21年度</b>
・本体工事、倉庫設計委託・工事、ペレット工房設計委託・工事 ・備品等購入 ※別途施設周辺の外構工事（駐車場、園路、植栽など）

## 拠点施設の名称

施設の名称は、(仮)帯広の森利活用センター、(仮)帯広の森管理センター、(仮)帯広の森市民活動センター(市長公約)と変遷したが、正式名称は、公募により「帯広の森・はぐくーむ」に決定した。(55人、67件の応募から、H21.9.1に帯広の森づくり協議会で選考した)

## 施設の概要

### (1) 施設本体

構造・規模：木造平屋建

延床面積：364.36㎡

内 容：事務室、ホール、多目的室、便所、デッキテラス、作業室

### (2) 附属施設

#### ①倉庫

構造・規模：木造平屋建

延床面積：54.65㎡

#### ②帯広の森ペレット工房(ペレット製造施設)

構造・規模：木造平屋建

延床面積：66.25㎡

内 容：破砕機、ペレタイザー、昇降機、自動供給機、ホイスト、乾燥エリア、チップ原木置場



帯広の森・はぐくーむ(施設本体)



多目的室

## 施設の管理運営

### (1) 供用開始時期

平成22年4月1日

### (2) 管理主体(指定管理者制度を適用)

指定管理者(ケイセイ・造景共同企業体)

### (3) 開館時間

①4/29～10/31 午前9時～午後7時

②11/1～4/28 午前9時～午後5時

### (4) 休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、祝日の翌日

### (5) オープン記念事業(平成22年度)

4月3日	オープニング式典(テープカット等)
5月15～16日	オープニングメインイベント(植樹・間伐ほか体験行事)
10月17日	はぐくーむ秋まつり(間伐・薪割り等の体験、豚汁・焼き芋試食など)
3月5日	講演会「森と人と野生動物」 講師：竹田津実(野生動物写真家)

※「帯広の森・はぐくーむオープニングイベント実行委員会(事務局：みどりの課)を組織し、事業実施



オープニング式典(テープカット)



はぐくーむオープン記念植樹

## はぐくーむが実施している事業

### (1) はぐくーむ主催行事

森の散策（自然観察会）や間伐・木工体験など、森づくりに関する行事のみならず、健康ウォーキング、歩くスキー、森の音楽会など森を「場」として活用した多様な楽しみ方を提案する



自然観察会「早春の花を見よう」



バードウォッチング



森の音楽会

事業も展開している。

### (2) 学校利用（環境学習）

市内や十勝管内の小中学校の環境学習はもとより、JICAの環境研修などを受け入れており、間伐体験や森林学習、外来種防除などのメニューを実施している。



環境学習（間伐体験）



環境学習（樹高測定）



JICA環境研修（グリーンウッドワーク）

(3) 燃料製造・利用

帯広の森の間伐材を原料に、施設本体の暖房（薪ストーブ1台、ペレットストーブ6台）の燃料となる薪及びペレットを製造。



ペレットの製造

(4) クロスカントリースキーの利用

帯広クロスカントリースキークラブにおいて、帯広の森内にコースを造成（秋にコースの草刈、降雪後に圧雪）。はぐくむでスキーセットの貸出を行っている。



クロスカントリースキー



薪割り体験



クロスカントリースキー



薪ストーブ

はぐく一むの利用実績（平成26年度の数値は全て平成27年1月末現在）

年度	来館者数			森づくり体験行事		学校利用（環境学習）		
	来館者総数	うち団体利用		回数	参加者数	回数	利用人数	回数内訳
	(人)	(回)	(人)					
平成22年度	9,632	115	2,006	57	710	10	663	小8中2
平成23年度	13,433	162	2,395	52	809	24	1,519	小18中2他4
平成24年度	14,083	120	1,992	64	1,116	27	1,442	小14中6他7
平成25年度	14,771	140	1,970	60	969	36	2,207	小23中4他9
平成26年度	13,024	90	1,360	53	923	48	2,294	小29中2他17

※森づくり体験行事の参加者数に、はぐく一む秋まつり、森の音楽会の参加者数は含めていない。

年度	スキーセット貸し出し数 単位：セット					スノーシュー貸し出し数 単位：セット				
	12月	1月	2月	3月	合計	12月	1月	2月	3月	合計
平成22年度	0	189	201	34	424	0	25	44	12	81
平成23年度	11	233	251	80	575	0	7	64	30	101
平成24年度	37	307	293	73	710	0	7	79	22	108
平成25年度	0	105	113	23	241	0	0	75	13	88
平成26年度	30	221	—	—	251	2	23	—	—	25

ペレットの製造・利用		
年度	生産数 (kg)	消費数 (kg)
平成22年度	6,000	3,975
平成23年度	5,150	5,025
平成24年度	4,000	4,675
平成25年度	4,400	5,375
平成26年度	3,700	2,400

※平成22年度当初購入したペレットは上記に含まれていない。

## 帯広の森用地取得と施設の整備

### 帯広の森用地取得

帯広の森は、昭和49年2月に面積334.6haの都市計画決定をすると同時に用地買収を開始した。その後、昭和52年10月5日（面積402.2ha）、昭和58年2月3日（面積402.5ha）、平成5年3月5日（面積405.6ha）、平成15年3月28日（面積406.5ha）と4回の変更を経て現在

に至っている。

平成26年度現在の用地買収予定面積は、都市計画決定面積406.5haのうち、河川、道路、その他の公共用地（49.7ha）を除く、356.8haである。

（用地）

年度	取得面積	取得面積累計	取得予定面積	進捗率	備考
平成17年度	21,558.67 ㎡	345.0 ha	356.5 ha	96.7%	
平成18年度	21,214.09 ㎡	347.1 ha	356.5 ha	97.3%	
平成19年度	2,269.67 ㎡	347.3 ha	356.5 ha	97.4%	
平成20年度	2,730.00 ㎡	347.6 ha	356.8 ha	97.4%	平成20年度取得の国有地を取得予定面積に算入
平成21年度	296.84 ㎡	347.6 ha	356.8 ha	97.4%	
平成22年度	取得なし	347.6 ha	356.8 ha	97.4%	
平成23年度	1,956.95 ㎡	347.8 ha	356.8 ha	97.5%	
平成24年度	取得なし	347.8 ha	356.8 ha	97.5%	
平成25年度	取得なし	347.8 ha	356.8 ha	97.5%	
平成26年度	取得なし	347.8 ha	356.8 ha	97.5%	

### 施設の整備

帯広の森では、都市のスプロール化を防ぎ農村部と都市部の交流の場となるほか、自然環境の学習の場、安らぎ・憩いの場、スポーツ振興の場、温暖化・災害抑止効果として役割を果たしており、これまで運動施設区の施設整備のほか、森の交流館・十勝などの国際交流施設や帯広の森に近接する帯広の森市

民農園・都市農村交流施設（サラダ館）などの周辺施設を結ぶ園路や駐車場、あずまやなどの休憩施設の整備を進めている。

平成17年度以降の施設整備の実績は以下のとおりである。

（施設）

年度	事業内容	備考
平成17年度	屋内スピードスケート場基本設計	
平成18年度	屋内スピードスケート場実施設計	
平成19年度	屋内スピードスケート場建設【開始】 帯広の森市民活動センター（現帯広の森・はぐくーむ） 基本設計 ほか	屋内スピードスケート場は3カ年工事



年度	事業内容	備考
平成20年度	屋内スピードスケート場建設 園路整備（延長227.05m） 帯広の森市民活動センター実施設計 ほか	
平成21年度	屋内スピードスケート場建設【完成】 屋内スピードスケート場周辺整備 帯広の森・はぐくむ本体及びペレット工房建設、周辺整備	
平成22年度	園路整備（延長2,542.54m） ほか	
平成23年度	パークゴルフ場（ふるさとの森コース）トイレ新築 築山造成開始 案内板等設置（19箇所） ほか	
平成24年度	パークゴルフ場（ふるさとの森コース）駐車場等広場整備及び園路整備（延長265.40m）、橋梁下部工 案内板等設置（2基） ほか	
平成25年度	園路整備（延長1,040.00m）、橋梁上部工（延長13.56m） 案内板等設置（2基） ほか	
平成26年度	築山造成（盛土）完成 案内板等設置（2基） ほか	



園路・休憩施設の整備



築山の整備



橋梁の整備

帯広の森年度別施設整備（平成17年度～平成26年度）





